

平成30年度 事務事業評価シート(実施計画事業・経常事業)

事務事業名	支え合いいいききポイント推進事業		担当部	市長公室	担当課	協働推進課	担当係	コミュニティ係						
実施計画	2	年目												
新基本計画	市政戦略編	○	分野別計画編	2	保健・福祉	10	地域福祉	1	地域福祉活動に参加する担い手を育成・確保します					
予算区分	一般会計	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	9	協働推進費	大	3	中	2
根拠法令・個別計画	① こまき支え合いいいききポイント制度実施要綱 ② 小牧市地域協議会制度方針 ③ 介護保険法													
何(誰)を対象に	18歳以上の市民(ただし、介護施設ポイントは65歳以上)													
目的	どの様な状態にするか 地域における支え合い・助け合い活動の担い手を増やすとともに、その継続性やいきがづくり、更にはポイントを市内限定商品券と交換し市内商店で利用することで地域経済の活性化にもつながる													
手段	どのような事業を実施するか ○支え合いいいききポイント推進事業 ・地域での支え合い・助け合い活動の協力者(お互いさまサポーター)が、施設や地域での活動によって得たポイントを、市内限定商品券に交換し還元するもの													
事業の概要	事業内容													
	28年度	—												
	29年度	<p>○支え合いいいききポイント制度(介護施設・サロン・地域)の仕組みづくり</p> <p>○介護施設ポイントの実施</p> <p>・市内の介護施設での補助的なお手伝い(話し相手、洗濯、配膳等)をされた65歳以上の市民の方にポイントを付与【平成29年10月から実施】</p> <p>○サロンポイントの実施</p> <p>・サロンの運営(お茶だし、準備・片付け等)に協力をされた18歳以上の市民の方にポイントを付与【平成29年10月から実施】</p> <p>○地域ポイントの実施</p> <p>・地域協議会における日常生活のちょっとした困りごと(庭の草取り、電球交換等)を支援した18歳以上の地域住民の方にポイントを付与【設置された地域協議会との実施に向けた協議】</p>												
	30年度	<p>○介護施設ポイントの実施</p> <p>・市内の介護施設での補助的なお手伝い(話し相手、洗濯、配膳等)をされた65歳以上の市民の方にポイントを付与【ポイントの対象となる活動先を拡大】</p> <p>○サロンポイントの実施</p> <p>・サロンの運営(お茶だし、準備・片付け等)に協力をされた18歳以上の市民の方にポイントを付与【ポイントの対象となる活動先を拡大】</p> <p>○地域ポイントの実施</p> <p>・地域協議会における日常生活のちょっとした困りごと(庭の草取り、電球交換等)を支援した18歳以上の地域住民の方にポイントを付与【平成30年6月より篠岡小学校区地域協議会にて実施予定】</p>												

	H28		H29		H30	
	当初予算額	決算額	当初予算額	決算見込額	当初予算額	
合計	-	-	2,590	1,611	7,015	
事業費 内訳 (千円)	国支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他	-	-	1,440	509	5,060
	一般財源	-	-	1,150	1,102	1,955
特定財源の説明						
事業費 内訳 (千円)	細々節	H28		H29		H30
		当初予算額	決算額	当初予算額	決算見込額	当初予算額
	支え合いいきいきポイント還元品料	-	-	1,800	588	6,150
	消耗品費	-	-	100	-	80
	印刷製本費	-	-	690	1,023	785
従事者数	正職員(人数)	0	0.6	0.6	0.6	0.6
	その他職員(人数)	0	0	0	0	0

	事業の成果指標		単位	H26	H27	H28	H29	H30	
	①	②		目標	実績	目標	実績	目標	実績
ステップⅠ	①	1年間に支え合いいきいきポイントを受け取った人の数	人	目標	-	-	-	300	700
				実績	-	-	-	642	
	②	ポイントの市内限定商品券への交換率	%	目標	-	-	-	90	90
				実績	-	-	-	84	
	事業の活動指標			H26	H27	H28	H29	H30	
	①	支え合いいきいきポイントの活動場所として登録した団体の数	団体	目標	-	-	-	20	70
実績				-	-	-	59		
②	ポイント制度登録者数	人	目標	-	-	-	384	984	
			実績	-	-	-	695		
事業の目標達成状況とその要因、実績増減の要因									
業績	H29実施結果	<p>サロン団体運営者などへの丁寧な事業説明により、受入団体の登録が59カ所と順調に進んだ。それにより、多くのサロン参加者がその運営をお手伝いすることとなり、目標を大きく超える642人がポイントを受け取った。なお、市内限定商品券への交換率は、実施期間が5カ月と短かったこともあり84.3%と目標を下回った。</p>							
	H29実施結果	<p>介護施設での活動者が11人と少なかったため、ポイント制度対象となる介護施設の拡大と市民などへの周知が必要である。また、もっと多くの場所や活動にポイントを付与して欲しいといったサポーターの要望などもあり、ポイント端数の次年度への繰越や、平成30年度から通所型・施設型サービスの介護保険事業所全般を介護施設ポイントの対象とすると共に、住民主体の認知症カフェをサロンポイントの対象に加えることとする。 地域協議会での支え合い活動が実施されていないため、来年度以降、実施に向けて複数の地域協議会へ働きかけを強める必要がある。</p>							

事業の方向性	拡大	対象の拡大や手段の充実等により、事業のボリュームを拡大するべきもの
事業の評価 判定理由	<p>高齢化が進む中、元気な高齢者などが支え合い・助け合い活動の担い手として活躍することで、いつまでも住み慣れた地域に住み続けられる地域づくりに繋がると考える。 そのためには、地域協議会における地域住民の主体的な困り事支援などの活動が重要であり、その担い手のインセンティブとして地域ポイントの活用は効果的な手段になると考えている。 現在、篠岡小学校区の地域協議会が、平成30年6月から地域ポイントの実施に向けて準備を進めており、その方法などについて協議をしている。今後は、実施状況を検証し必要な改善を行うと共に、好事例として他の地域協議会へ横展開することで、更なる事業の拡大が見込まれるため事業の方向性は拡大とした。</p>	